

令和5年度 みんなで支える森林づくり上伊那地域会議次第(第1回)

日時：令和5年7月26日(水)10時～12時

場所：伊那合同庁舎 5階 501・502号会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 令和4年度長野県森林づくり県民税活用事業の実績について

① 森林づくり推進支援金事業実績報告

資料1-1

② みんなで支える森林づくりレポート 【県全体の実績】

資料1-2

③ 上伊那地域の実績一覧

資料1-3

④ 上伊那地域の取組概要

資料1-4

(2) 令和5年度長野県森林づくり県民税の事業内容について

① 森林づくり指針の概要について

資料2-1

② 森林づくり県民税～事業の内容及び目標～ 【県全体の計画】

資料2-2

③ 上伊那地域の計画一覧

資料2-3

4 その他

5 閉 会

令和5年度 みんなで支える森林づくり上伊那地域会議構成員

所 属 等	氏 名	備 考
信州大学農学部 助教	三木 敦朗	学識経験者
ふじくぼ林産 (元中川村地域おこし協力隊)	斎藤 真吾	県民の代表者
森林ボランティア (森だくさんの会 前副会長)	高山 美鈴	県民の代表者
伊那谷ふいーる (元伊那市地域おこし協力隊)	田中 聡子	県民の代表者
長野県建築士会 上伊那支部長	辻井 俊恵	企業の代表者
上伊那森林組合 専務理事	富山 裕一	森林・林業関係 の代表者
辰野町 産業振興課長	岡田 圭助	市町村の代表者

(敬称略)

令和5年度以降の「みんなで支える森林づくり地域会議」の開催について

1 みんなで支える森林づくり地域会議について

(1) 定義

地域住民の代表等からの意見を聴取し、各地域での森林税活用事業等に反映させることを目的として、地域振興局長が別に定める要綱により開催。

→ 地域振興局長は、みんなで支える森林づくり地域会議(以下、「地域会議」という)の実施状況及び意見の概要等について、知事に報告。

知事は、報告のあった内容について県民会議に報告。

(2) 構成員

県民等の意見が幅広く反映されるよう、幅広い分野からの選任に努めている。

【例】学識経験者、市町村の代表者、森林・林業の代表者、企業の代表者、
県民の代表者

(3) 主な会議事項

- ・ 前年度事業の検証・評価、当年度事業の計画説明・進捗状況報告、現地視察
- ・ 森林づくり推進支援金の事業実績(総括書)に対する意見聴取 ※令和5年度まで

2 令和5年度以降の開催について

第4期森林税事業が開始となることから、以下のスケジュール(案)等を想定する。

(1) 開催回数：年2回を標準とする。

(2) 開催時期等：表1のとおり

(3) 会議事項について

地域会議の予算は「みんなで支える森林づくり推進事業」として、森林税の広報及び検証・評価のため計上されており、会議の開催自体が森林税の周知に資するものである。

→ そのために公開の場で開催されている(県民会議は動画配信も実施)。

このため、地域会議の開催に当たっては、超過課税としての森林税を活用して取り組んできた事業成果を各地域に紹介することはもとより、新たに取り組む内容について各地域に周知することを意識されたい。

ア 第3期から引続き行うもの

- ・ 前年度事業の検証・評価、当年度事業の計画説明・進捗状況報告、現地視察は引き続き実施。
- ・ 令和5年度第1回に限り、令和4年度森林づくり推進支援金の事業実績(総括書)に対する意見聴取が必要。

イ 第4期から取り組むもの

- ・ 第4期から新たに森林税事業として取り組む「再造林の加速化」、「開かれた里山」、「森林サービス産業」等については、各地域において取組を周知していくため、地域会議において積極的に議題・現地視察箇所に挙げることを。
- ・ 特に「開かれた里山」について、地域振興局長が事業計画説明を行い、意見聴取を実施。結果を基に局長が計画を承認し、県民会議へ報告することを予定(事業実績は事業実施者が地域会議あて報告し、意見聴取した後に局長が県民会議へ報告・公表することを予定)

表1 地域会議及び県民会議等に係る年間スケジュールのイメージ

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
地域会議	1回目：5～8月 前年度事業の検証・評価 当年度事業の計画説明		2回目：9～12月 当年度事業に係る進捗 状況報告、現地視察等	
県民会議	開催結果 の報告	1回目：7～8月 地域会議での結果を 踏まえ事業を検証・評価	2回目：11～12月 現地視察、これまでの 事業に係る検証・評価	
庁内会議	結果報告		庁内推進会議において 検証・評価シートを作成。 県HPにて公表	

参考：第3期の開催状況等

平成30年度は各地域会議が2～3回程度開催されていたものの、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により対面実施や現地視察が困難となったことから、いくつかの地域会議が、年1回の開催や書面でのみの開催に留まっている状況。

→ 令和4年度の開催回数見込み：18回（3回1局、2回6局、1回3局）